夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚延五一
電話387番
編集兼発行人　鑑村　清

近海操業で豊漁

水揚十五万貫　サンマ最低二十八圓

サンマ漁の解禁以来三十五日目の本日の小名浜市場の水揚数量は約十五万貫余で最低値貫当り二十八円と云つた値代まで飛出した。解禁前に暖流水帯がありサンマの南下が心配されて居たが、その後暖流水帯が衰弱したので南下も急に早まり、今年はむしろ例年より約半月も早くその先端はすでに塩屋崎沖まで南下して来ている。ことしの特異性は暖流水帯が沖合に強くはりだしているためにサンマ群は沖より沿岸に押されているので沿岸近くで操業出来るので、操業回数の増加と共に豊漁になつているものとみられている。本年は本県沖合のサンマ漁は例年より約二十日位早くなる見透しで尚一段の豊漁に各港はワキかいつている。

発明協会磐城市部会　才一回総会

十八日磐城市役所会議室に於て

発明協会福島支部磐城市部会（会長立花磐城市長）は十八日午後二時より磐城市役所会議室に於て、第一回臨時総会を開催する。同会は従来発明研究家、並に特許保持者約三〇名が参集して、次の件について協議するものである。

一、発明協会磐城市部会設置承認

報告

一、特許制度七〇周年記念講演会内容報告

一、第十四回全日本発明工夫展覧会について

一、常磐開発振興展

以上について協議するものであるが、市としては初めての計画でもあり、十四回全国発明工夫展には学生児童の参加もあり、学校当局の協力により参加すべく準備をすすめる模様である。

祝賀に賑う勿來市

今日祝賀式と数々の催し

勿来市制施行祝賀式は既報の如く本十五日午前十時半から全市植田小学校講堂に於て一千余名の有志参集盛大に挙行された。芳賀助役の開旨、古川市長の別項要旨の如き式辞、合併功労者二七二名に感謝状を贈呈、来賓代表の祝詞に移り。県知事（代理八島総務部長）国会議員代表田畑、県議代表鈴、地元県議代表坂本、石城地区代表諸橋平市長、其他、吉田四倉町村長代表、隣接町村長代表菅川錦野町長、市内企業者代表、呉羽化学山県工場長、元石城郡町村会長の高木元錦町長、山崎勿来市議長等各氏の祝詞があり、朝日、読売両新聞社の飛行機上よりのメッセイジと花束贈呈、木村、高木、松井代議士等の祝電披露があつて受賞者総代渡辺元植田町長の謝辞を以て式を終り、北郷副議長の閉式の挨拶、古川市長の音頭で万歳を三唱して盛大な祝賀の式を閉じた。

市制祝賀の詞（要旨）　勿来市長　古川　伝一

本年四月二十九日、三町二カ村合併し、東北関門の市として発足して以来半才、菊多方部は豊年にわきたつた此の秋、市誕生の喜ばしい次第です。面積一〇四、五二平方粁に、人口五万を有し、今や火力発電所の誘致は最後の段階ともなり、雄大なる将来を約束し得る事になりました事は、私等先祖に謝すると共に悠久に子孫に伝える今日の日こそ同時に総親和と総努力によつて輝やかしい建設えの第一日であることを銘記して万才と御喜び申上げます。

なお、式終つて戦国時代をしのぶ武者行列や、山田の奴行列に、市内はゴツタ返す祝賀一色にぬりつぶされ、大賑いを呈した。

塩釜市議一行　小名浜港視察

塩釜市議会議員一行六名は小名浜港湾視察のため来る二十一日午後三時来市する。一行は塩釜市議会商工水産委員で小名浜港に対する市の施策について見学するものである。

磐城市遺族会　会長打合せ会

磐城市遺族会長打合せ会を本十五日午前九時より市役所会議室に於て、鹿島地区会長会鈴木金蔵、小名浜地区会長鈴木貫義、泉地区会長吉田透、江名地区会長作山一枝、渡辺地区会長安藤力、の各氏が参集来月初旬県主催による戦歿者追悼祭があるので、同会は区地区より二名の代表者を送ることになつた

港湾協会に出席して

視察旅行所感

磐城市議会副議長　江尻　卿

日本港湾協会は例年一回全国主要港湾の内より会場を選び、全国の港湾関係者打つて一丸となり、港湾行政に関する重要なる一般共通の建議案及び各港湾特殊の陳情事項等の審議をなすものであり、当市に於ても小名浜町当時より是が頭初豫算の計上を見て行われているものである。

今般当市発展の最も重要なる港湾行政、施設等に就て視野を広める意味に於て、前記豫算を以て出来るだけ多くの議員が参加することになつたのである。

我々は一路三等夜行にて松山に向つたのである。三日、松山会議に於ては三百余件に達する議案等の審議をなし、続いて政府に対し昭和三十一年度に於て港湾関係公共事業費（国費）一九〇億、港湾整備促進法に基くもので一般地方債のワク外に三〇億の確保、且つ地方の負担金については全額起債を認められたい等の決議案を可決し終了した。

四日、五日の両日に渉り松山港を振出しに今治港、新井浜港、多度津、坂出、高松と瀬戸内海の四国の諸港を視察したのである。

松山港は昔時より三津浜港、高浜港と称し、歴史の古い港であるが昭和に至るまではあくまで一地方の港湾として目立たない存在であつたのが、瀬戸内海航路の自然的好環境と、直後にある臨海敷地の利用が考えられ、次々と大工場が誘致され、現在は大理想のもとに築造中の大可賀本港の外、総[illegible]の努力を以て改修築をなしている前記高浜港、三津浜港の外由岸港吉田浜船溜等を夫々の工場敷地と共に包含しているのであるが、これを磐城市の港湾と考え合せて種々点で共通する条件あり、大いに学ぶべき点があつた。

陸上輸送等については松山の場合市街地（鉄道）と港が離れ、臨港鉄道なき点等むしろおくれていると思われた。

その他坂出港は古来より塩の港として塩輸出が盛んであるが、近時国外の岩塩を精製加工して輸出している等、その積極的な運営見るべきものあり、只残念ながら水深六米余とかにて貨物船の接岸出来ぬため、丁度我々が参りました時小船に荷揚しており、生産品のコストに及すところ少なくないと見て参つた次第。

又塩田による製塩も、電気製塩の今日又転向をよぎなくせられるもの、従つて塩田の工場に切換等も重要な問題になるかと思われるのであつた。

その他各港共工場誘致計画と、良く歩調を合せて躍進しているように見受けられた。又一方文化施設或は農村も一見して感じたところ誠に豊かに見え、商店街も外観或いは商品内容も充実のようであつた。

以上私の文筆を以てしては充分なる表現も出来ないが、何れにしても古来より百聞一見にしかずの通り、我々一行港湾について認識するところ誠に多く有意義であつた

なお、ついでながら私は旅の恥はかき捨てということがあるが、こういうことは我々日本人の社会から抹殺したいと思つているものであるが、ユーモアー的というかナンセンスか急行券ありながら列車を違い、各駅停車に乗車する等、その他多少の話の種も出来たことを認め追記するものである。

納税者の立場から

課税関係懇談会

磐き市商工会議所、及び磐きし青色申告会の共催によつて、十八日は法人関係、二十日は個人関係の税の懇談会を小名浜公民館でそれ〴〵十二時より開催する。同会には平税務所長及係課長を招き納税者の苦情を訴え、課税に対する改善を計らうとするものであり当日は多数の出席を望んでいる

赤い羽根大口募金勧誘

磐城市では昨十四日午前九時から「赤い羽根」共同募金の大口募金について打合せを行つた。共同募金大口寄附は各会社、団体個人等に対し班を編成し、戸別訪問する事になつた。十七日は午前九時市役所会議室に集合、一斉に大口共同募金に乗り出すことになつたのである。尚、磐城市の共同募金額目標は五十七万であり、現在磐城市に集つているものは、十八万円程度のもので低調であり「国民たすけ合い運動」について市民の協力が望まれている。

バラの展示會

磐城市小名浜公民館では来る二十二、二十三日に平、内郷、常磐、勿来、磐城の五市のバラ愛好者の出品に依り各種バラの展示会が開催される予定になつている。尚、出品鉢数と開催時間等は後日決定されることになつている。

植田商工会　市制祝賀の催し

勿来し植田商工会ではし制施行祝がのため明十六日、平、相馬方面から有名芸八十名を招き、トラツクに舞台を設け、これに花自動車を続かせて、錦を振り出しに午前十時から名地区を廻り、終つて植田で手踊を公開する。

石井福太郎氏死去

磐城市本町石井医院、院長石井正氏の岳父である田村郡小野町大字金原、石井福太郎さん（八十三才）は去る十四日午後六時老衰のため死去した。福太郎さんは永らく田村郡小野町の村長、農業協同組合長等の要職を勤めるかたわら地域の社会事業に貢献し、後年は晴耕雨読の生活をしていた。

天氣予報

【今晩】南西の風くもり、一時にわか雨が降ります、後晴間が多くなりましよう。

【明日】南乃至西寄りの風くもり後晴れて来ます。

【明後日】西寄の風晴のちくもりおそくなつて一時雨が降るかもしれません。

【海上】今晩やや風波があり、明日は多少風波が出ます、明後日は割合おだやかです。

飲すか
いわき牛乳
牛乳で一家楽しく健康に
いわき酪農組合

三つの顔
水島道太郎
三国連太郎
源義經
中村錦之助
中原ひとみ
14→18まで
キンビ館

印刷の御用命は
ナガセ印刷株式会社へ
電話（イワキ）二二九番

洋服は　技術もスタイルも価格もきつと御満足を得られる
紳士服
婦人服
箱崎洋服店
磐城市松之中（水素前通り）

17日貯蓄の日
収入の一割を貯蓄しましよう

小名浜金融團
小名浜信用金庫　電話一一一・一一三番
七十七銀行小名浜支店　電話五・六二三・九八七番
東邦銀行小名浜支店　電話一四九・二三九番
常陽銀行小名浜支店　電話三〇三・九八一番
福島相互銀行小名浜支店　電話五三六番
大東相互銀行小名浜支店　電話九三番

勿来市祝賀
勿来市役所
市長　古川伝一
助役　芳賀三男
収入役　古川二郎
外職員一同

勿来醫師会

勿来市観光協会
会長　赤津一

ホシ友醤油株式会社
ホシ友タクシー
取締役社長　星友太郎
錦町江栗　電話五四・三七九番

増築落成
幸島醫院
労災指定・入院室完備
錦町大倉　電話二七三番

銘酒
稲萬歳
古川伝一　電話一六番

随筆

船中記（上）

藤社中庸

海上生活、それは何んとあきらめの生活の事よ。

凡そ船中生活は一人の単独行動を許さない。所謂自分ばかり美味い物を食うとか、自分ばかり面白い事をしようとしても許されないのである、殊に三千屯級の小さな漁船では尚更だ。

我はこの小さな漁船に乗込んで、約一カ月ばかり海上生活をした事がある。先ず船の寝室だが、高さ約四尺位の二坪もあるか無しかの狭苦しい処に、イワシ粕を干した古むしろを五、六枚敷き重ねてある。是が我々五人の寝室である。

曰く甲板長の久馬、水夫の鈴木、網大工の濱一、すい事長の高濱、客人のおれと五人である。

彼等は銘々の外とうや、ぼろなどを敷いてゴロ寝するのである。おれは船頭の寝巻を借りて寝た。彼等は昼の疲れでねるとすぐ寝息を立て始めたが、流石におれは初めてなのでなかなか寝付かれない。その内足のフクロハギの方がむずむずする。

おかしいと思ってズボンをぬいてみると何とノミが二匹、然も赤と白とが居るではないか、この野郎とばかり爪の先で赤の方をつぶしたら赤い血がピツトはねた。白い方は血も出ないでピシャとつぶれた。この赤白は夫婦かなと考いながら再び寝巻をかぶる。すると今度は肩の方でむずむずする、又起きてシャツをぬげば、黒い大きなやつ一匹だ。その内いつとはなしに眠ったらしい。家で寝る二枚布団と比較すれば雲泥の差だが、こんなゴロ寝をしてもそう苦痛でないという事は、即ちあきらめであるからであろう。

然も我等の碇泊している桑の浜港は、不便な小さな港で入湯の便がない。皆五日も六日も湯に入らないので、丁度エンドネシヤ人みたいに薄黒く目ばかりピカリ光らせている人間は出来ないのだとあきらめれば何日入湯しなくても平気なのだから面白い。

この船は午前三時となると出港の用意が始まる。船頭がスタンバイを命じると、機関長はエンジンを掛ける。船頭は高いブリッチに上る、水夫はそれぞれ仕度をする。飯たきは釜土に火を入れる。去年までは高濱が飯をたいたが、今年は一年生が入つて来たスナオと云う。名は体を表わす、おとなしい少年で今年高一を卒業したばかりだ。

どんなさ細な仕事でも、番々出世があつて去年までのチビの高濱は今年はチビのくせにアレ是れと指図をしているのも面白い。そう言えば水夫の鈴木君も一年生だ、歳は四十八才になっているが、船生活は初年兵だ。

船頭は鈴木君を疎開と呼んでいる彼は東京より疎開をして来たのである。彼は元呉服商人で戦争の為疎開をしてそのままになつてしまつたのである。元来釣が好きで船にも酔わないので何んとかへつぺり腰で仕事をしている。

こうしてこの船は午前の三時となれば朝の行事が始まるのである。朝の行事と言えば体裁がよいが、実は糞小便の用達から始まるのである。それが何んと炊事場のじきそばで、尻をまくり船べりの上に上り、尻を海上につき出してびりびりとやるのである。

（筆者は磐城市議）

小名浜職場野球

秋季大会開く

22・23・29・30の四日間 小名（一中・一小）球場て

小名浜職場野球連盟（会長志賀要平）秋季大会は来る二十二、二十三日及二十九、三十日の四日間小名浜一中及一小校庭でA、Bの二クラス、トーナメントで行われるAクラスは臨港鉄道が、Bクラスは臨会が各々棄権新にBクラスに市役所B、第一小学校教組が加入しA十チーム、B十一チームである。

■B組合せ（一中球場）

1 東北配電―専売公社
2 警察署―市役所B
3 1の勝者―一小教組
4 2の勝者―信用金庫
5 1、2の勝者―3、4の勝者

〇一小球場

1 ホテル―運輸省B
2 郵政―電々公社
3 1の勝者―消防署B
4 1、2の勝者―3の勝者

■Aクラス（一中球場）

1 消防署A―保安部
2 せん維組合―漁協組
3 1の勝者―日星
4 1、2の勝者―3の勝者

〇一小球場

1 丸浜―水産試験場
2 運輸省―市役所
3 1の勝者―丸江
4 1、2の勝者―3の勝者

尚、決勝は三十日午後一時よりBクラス、午後三時よりAクラスを一中球場で行われる。

明日水産高校の運動会

県立小名浜水産高等学校の運動会は、明十六日（日曜日）全校々庭で水産健児二九一名の全校生徒の外、来賓、PTA会員多数の参集のもとに盛大に行われることになつて居る。

午前八時半安達校長の開式並に演技適告に始まり、盛り沢山なプログラムのなかで特に目だつのは昼食後全生徒で各クラス毎に行う仮装行列が見ものの様である。

「辰巳の湯」廿日開店

温水管方式を採用して

磐城市辰見町一八番地水産加工業稲葉栄さんは此の程同地内に工費約四五〇万円を投じて「辰巳の湯」を建築していたところ、完成の見透しがついたので来る二十日頃開店する豫定になつている。

今度稲葉さんが建てた大衆風呂は現市内の既設浴場とは設備内容が一風変つている。

先ず稲葉さんの狙いであるところの常時浴室の湯が一ぱいであることと、湯の汚れが表われず、一日中同じく清純度を保つために今までのような循環作用によつて一定温度を維持するのではなくて、現在東京附近でやつているような温水管方式を採用した。

この方式は細い銅管の集束管の中を高温度のボイラーよりの直接の湯が周り、銅管から放散する熱によつて湯室内の温度をあげてゆく方式である。

またこの方式の特徴は燃料経済の点を考慮して、ボイラー内に給水する水の温度をあらかじめあげておくといつた、エコノマイザー（節炭器）設備があることとである。

エコノマイザーの焼源は現在無意味に放出してしまう流し湯によつて行うので入浴者が多くなればなるほど流し湯が沢山つかわれるので、それに従つてエコノマイザ内を通る水の温度が上るので、ボイラーにたく燃料はほとんど使わなくて済むといつたものである。

浴場内の設備には細心の検討を加えて男湯、女湯の区劃壁は上下にケイ光燈を使用して光をやわらかく調整して湯客にくつろいだ感じを与える効果を考えている。

又薬湯には東京温泉で流行しているバスリオンと云う「小じわ」の発生を防ぐと共にヒフのツヤを増し龍脳香を調剤した芳香優美な香水料によつて全身美容を入浴時に行い入浴気分の満喫感を与えるといつた近代的な設備を具えているものである。

当の稲葉さんは次のように建築の抱負を語つていた。

小名浜港を中心とした名物が一つ増加したと云うことでしょうそのためにもこのような犠牲的建築を行つたのです。

大賣出し好評

大黒屋小名浜店

磐城市の大黒屋小名浜店では、同店増築記念大賣出しを十二日より十七日まで行っているが、皆様の利益を護る店として市民に親しまれて居り、人気をよんでいる。

客足は既製品子供物服、ネル、服地に集つて居り、冬に向つているので下着類も相当売出されて居り大黒屋では将来も磐城の皆様に愛される店として新しい企画により、良い品を安く提供し、サービス第一主義で進むと語つている。

魚菜市況

■鮮魚　小名浜底曳漁業組合

さんま五〇―一一八（水揚十五万六千貫）

■青果　小名浜中央青果市場

たまご一四、五―一二、五ねぎ一三〇―六〇たまねぎ一〇〇―四五にんじん一八〇―四五ごぼう一一〇―五〇ばれいしょ四五―三〇さつまいも四五―三〇さといも九〇―七〇大根四五―二〇丸大根五〇―二〇ほうれんそう二一―五きやべつ一〇〇―二〇なす五〇あまがき一五〇―九〇きりいも一五〇―二〇はくさい六〇―二〇なたまめ一五〇―七〇もやし八〇―七〇

富士名刺は ナガセ

開店

☆サービス本位……
☆親切本位……

カフェー かもめ

磐城市沖見町
伊勢屋向い

【求む】女中さん数名

☆内外線請負業☆

【迅速なる施工】【親切・丁寧】をモットーとする ◎◎◎◎

酒井電機

磐城市下明神町四八
電話七二八番

開業御知らせ!!

☆☆七五三及び花嫁着付
特殊コールドパーマ
御来店を御待ちして居ります

ミモザ美容院

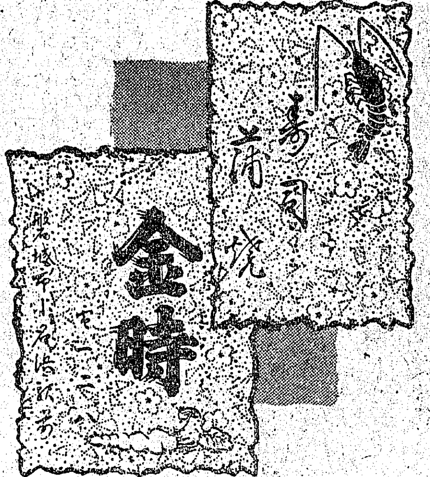
磐城市上町 金星座前 主 松原タケ子

ラジオ 電氣器具 大賣出し

ビクター・サンヨウ・オンキヨウ・シャープ
各種一流メーカ品取揃えました

小磯ラジオ店

磐城市磐城座通り 電七一四番



ネオン・電飾

夜景に生きるネオンの偉力

施行 設計 アド・ネオン

平市新田町 電（平）七一一番

東宝

赤裸な夫婦の心中にとらえた眞實の愛情 絶讃の聲湧く藝術祭参加作

絶讃！

夫婦善哉（めおとぜんさい）

光る森繁、淡島の名演技
豊田四郎心快の作

監督 豊田四郎
原作 織田作之助
脚本 八住利雄

芸術祭参加作品
早くも呼び聲高し！
本年度ベストワン!!

森繁久彌
淡島千景
（松竹）
司葉子
浪花千栄子
三好栄子
田中春男
小堀誠

十二日より
十八日まで
磐城座

あの高地を取れ！

総天然色
リチャード・ブルックス監督

☆一度び男子と生れなば散兵線の花と散れ！
☆尺余の銃は武器ならず！ 寸余の剣何かせん！

リチャード・ウィドマーク